

令和6年度 授業創造プラン

3年

日野市立滝合小学校

教科	児童の実態（Gテストを含む）	具体的な取組
国語科	- ほとんどの児童が新出漢字の練習に積極的に取り組んでいる。漢字の読み書きについては、ほとんどの児童ができていた。（Gテスト平均得点率 87%） - 物語文や説明文の読み取りについて、不十分である。（Gテスト物語文の読み取り平均得点率 56%、説明文の読み取り平均得点率 44%）特に内容理解に課題が見られる。 - 表現について、自分の考えを言葉や文章で適切に表現することが苦手である。Gテストでは、時間が無くて回答できなかった児童が多かった。（Gテスト平均正答率 16% 無答率 66%）	「ちいちゃんのかげおくり」や「モチモチの木」の単元では、段落ごとの出来事と主人公の心情の関係を、叙述に沿って読み取ることで内容理解の力を付ける。「すがたをかえる大豆」の単元では、それぞれの段落の中心となる文に線を引くことで、内容理解につなげ、どのような順序で事例が挙げられているのかを捉えられるようにする。 「食べ物のひみつを教えます」の単元では、「すがたをかえる大豆」の学習を基にして、文章の組み立てと例の書き方や段落や事例の順序などを考えることで、説明する文章を書けるようにする。 「たから島のぼうけん」の単元では、物語の組み立てを「始まり」「出来事」「解決」「結び」で考え、比喻や修飾語などを用いて、読み手を引きつけるような文章を書けるようにする。
算数科	- たし算とひき算の筆算やかけ算などの計算については、ほとんどの児童ができていた。（Gテストたし算と引き算の筆算平均得点率 86% かけ算平均得点率 92% たし算の筆算の文章問題 88%） - 数直線の読み取りやテープ図を使った説明などを苦手としている児童が多くみられる。（Gテスト数直線の読み取り平均得点率 58% テープ図の選択平均得点率 52%）	「数の表し方やしくみを調べよう」の単元では、数直線の1目盛りの大きさに着目して、数直線上の小数を表す目盛りを読んだり、小数を数直線に表したりする方法を考え、説明することができるようにする。 「□を使って場面を式に表そう」や「倍の計算」の単元では、未知数があっても□を用いると文脈の通りに式で表せることや、比較量を求める場合は乗法を用いればよいことなどを、数直線用いて考え、説明することができるようにする。